

図1. サンマの消化管内内容物重量の季節変化

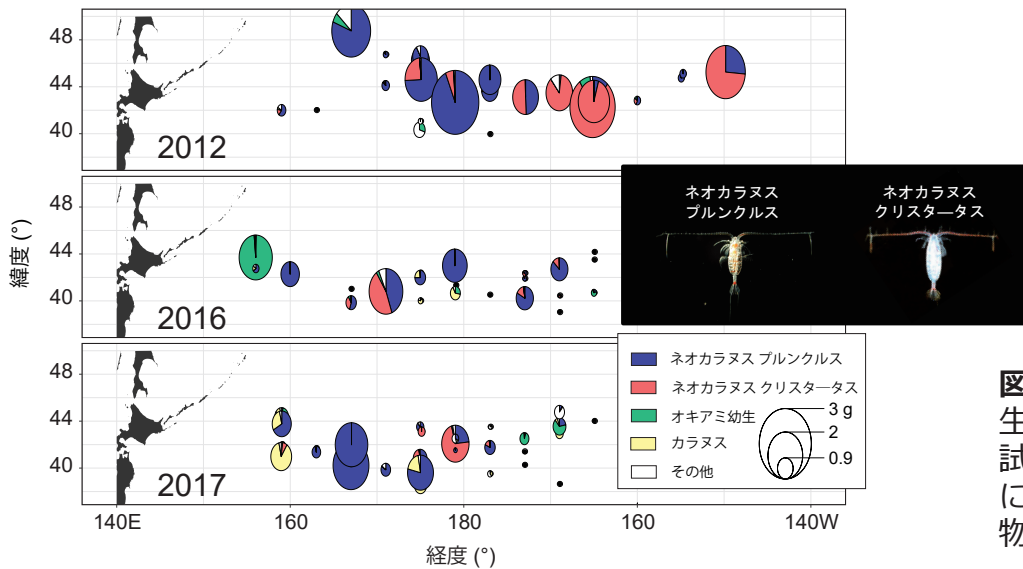


図2. サンマの消化管内の餌生物の組成。丸の大きさは、試料のサンマの体長を 27 cm に換算したときの消化管内内容物の重量

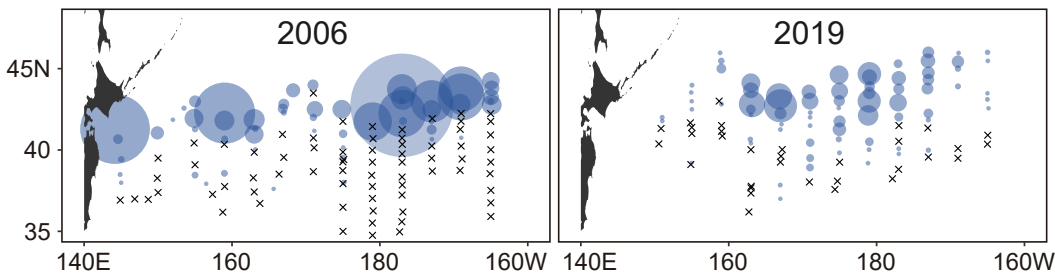


図3. 2006年と2019年の環境中のネオカラヌス プルンクルスの分布の例 (2006年はサンマが高肥満度であった、2019年はサンマが低肥満度であった)。丸の大きさは相対的な密度を示し、×は出現しなかったことを示す。

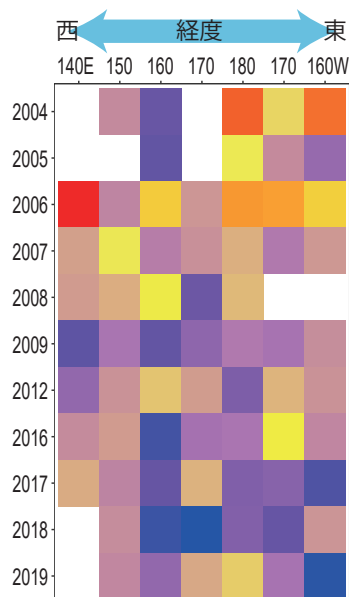


図4. ネオカラヌス プルンクルスの分布量の経年変化 (図3で示した海域内)。暖色は相対的に分布量が多いことを示す。